

平成31年亀岡市議会定例会3月議会一般質問

亀岡市議会

平成31年亀岡市議会定例会3月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者（会派名）			質問方式		
3月5日(火)	10:00～	代表	1	西口 純生 (新清流会)	一括		
	11:20～		2	木曾 利廣 (緑風会) ※質問	一括		
				休憩			
	13:00～			※答弁			
	13:40～		3	三上 泉 (共産党議員団)	一括		
			休憩				
	15:20～		4	富谷加都子 (公明党議員団)	一括		
3月6日(水)	10:00～	個人	5	菱田 光紀	一問一答		
	10:35～		6	竹田 幸生	一問一答		
	11:10～		7	並河 愛子	一問一答		
				休憩			
	13:00～		8	福井 英昭	一問一答		
	13:35～		9	平本 英久	一問一答		
	14:10～		10	長澤 満	一問一答		
				休憩			
	15:05～		11	石野 善司	一問一答		
	15:40～		12	赤坂マリア	一問一答		
	3月7日(木)		10:00～	個人	13	田中 豊	一問一答
			10:35～		14	大塚 建彦	一問一答
11:10～		15	三宅 一宏		一括		
			休憩				
13:00～		16	浅田 晴彦		一括		
13:35～		17	木村 勲		一括		
14:10～		18	奥野 正三		一問一答		
			休憩				
15:05～		19	松山 雅行		一問一答		
15:40～		20	小川 克己		一問一答		
16:15～		21	小松 康之		一問一答		

※1回目の質問後休憩

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成31年亀岡市議会定例会3月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>西口 純生 (新清流会) 3月5日(火) 10:00~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 市長の政治 姿勢について</p>	<p>新時代亀岡を迎えるにあたり、市長の政治姿勢について問う。</p> <p>(1) 市制と共に始まった歴史と伝統ある亀岡市議会も65周年を目前に迎える中、施政方針や財政運営、市政全般にわたり、市長の政治姿勢を問う。</p> <p>① 第17期目の新議員を迎えて、市長の夢ある施政方針、心動かす座右の銘や先人の遺された名言も含め、新時代亀岡を迎えるにあたって、リーダーとしての抱負・決意は。</p> <p>② 本年度当初予算は計画どおり事業達成できたか。</p> <p>③ 積極予算と名付けられた次年度予算であり、新規・充実事業の多さが特に目立った予算編成と受け止めている。特色ある主な事業と、その必要性は。</p> <p>④ 今回の次年度予算編成により、亀岡市の財政健全化比率、財政調整基金はどのように変化するのか。</p> <p>(2) ふるさと納税の亀岡市の取組みについて問う。</p> <p>① 今年度のふるさと納税の見込み額は、最終どのような額になるのか。</p> <p>② 寄附月は12月に集中している状況から、この時期の返礼品を検討して地場産品を充実させることが、より一層の寄附額増につながると考える。その手立てはどのように考えるか。</p> <p>③ ふるさと納税の自治会版の寄附額は出ているか。</p> <p>(3) 世界中で問題になっている環境問題であるが、プラごみゼロ宣言をした亀岡市の取組みについて問う。</p> <p>① 世界中でプラごみが大きな問題となっている現状において、本市議会はプラごみゼロ宣言を亀岡市と共同で発表したが、条例制定の詳細については聞いていない。どのように対応するのか、見解は。</p> <p>② レジ袋の有料化についての条例制定は、商店街の人たちの反論も聞いているが、どう対応し、市民理解をどのように得ていくのか。</p> <p>③ プラごみ問題での日本の対応について、世界中から関心が高まっている。遅れている日本の現状について、ジャパントイムズの特派員の質問に、どのように対応されたのか。</p> <p>(4) 災害に強い亀岡のまちづくりについて問う。</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>①桂川河川整備の促進について、国土交通省の政務官・近畿地方整備局長、京都府、亀岡市の幹部と、2月14日は今までにない規模で視察に来られ、現状を見てもらった。今後の見通しについて所見は。</p> <p>②整備手順の中で、目新しい情報は得られたのか。</p> <p>③霞堤の締切り、堆積土砂の撤去、立木の伐採など、災害認定の後の動きは。</p> <p>④保津川峡谷の入口周辺の掘削について、もう検討の議論をしていくべき時期に来ていると近畿地方整備局長から政務官に提言があった。具体的な話について、今後提言をしていけばと思うがどうか。</p> <p>⑤国の国土強靱化で、3年で7兆円の事業計画が発表されたと聞いている。この事業で一気に進められると期待しているが、亀岡市としての見解は。</p> <p>⑥昨年の台風や豪雨の被害により、国の災害認定で着手できる河川・土砂災害など復旧事業の内容は。</p> <p>(5) 亀岡市部設置条例の一部改正が上程され、健康福祉部の所管を分割して、こども未来部を新設すると聞いている。全庁横断的な連携の必要性を問われてきた部署であるのに、その使命を果たせるのか、見解を問う。</p> <p>①議会の議論を踏まえた子どもの権利に関する提言では、市長部局の全ての部署及び教育委員会が連携できるよう、統括を行う部署を設け、子どもの権利に関する基本計画の策定や政策推進に必要な予算、人員、権限を付与することを求めている。このような形で設置いただくものと確信しているが、見解は。</p> <p>②家庭教育の壁もある中、東京都足立区の子どもの貧困問題の先進事例では、政策経営部が所管している実態がある。子どもの権利条例が制定された中、全庁横断的対応の必要性から見ても理解に苦しむがどうか。</p> <p>(6) 亀岡市議会の議会改革について、さらなる進化させる議会の挑戦のために問う。</p> <p>①平成15年に市長と共に亀岡市議会議員に初当選して、新会派・亀岡創生会議を創設し、不可解な議会のあり方に疑念を抱き、議会改革に取り組んできた。それから16年を費やしたが、日経グローバルの議会活力度ランキングの議会運営分野において、念願の日本一を獲得した。これについて市長の所見は。</p> <p>②議会改革のさらなる挑戦のためには、開かれた議会の三要素の1つ、公開のための議会設備の充実として、委員会室の録画配信設備が必要であり、今期での予算付けが必要となる。この点について市長の見解は。</p>	
--	--	--	---	--

		<p>2 観光行政について</p> <p>3 選挙投票率向上について</p> <p>4 教育行政について</p>	<p>観光振興行政について問う。</p> <p>(1) 大河ドラマ館の計画について、時期・場所・予算など、どの程度の事業計画であるのか。</p> <p>(2) 保津川下りの観光振興の事業として、新たに千代川から保津川遊船までの川下り構想が発表された。具体的にどのような計画であるのか。</p> <p>(3) 亀岡駅北周辺のまちづくりの中で、土地区画整理事業の一環として、ホテル誘致の話が出ている。この具体性についてはどうか。</p> <p>今年は選挙の年である。投票率の向上と投票所の確認事項について問う。</p> <p>(1) 今回の市議会議員選挙の投票率は、どのような結果であったのか。また、20歳未満の投票率は。</p> <p>(2) 投票所での本人確認はどのようにしているのか。</p> <p>(3) 移動式期日前投票所の開設など、投票率の向上を図る施策で、他に考えられることはないのか。</p> <p>子どもの命が親によって奪われる虐待が相次いでいる。千葉県野田市では小学校4年生が被害に遭った。教育行政の観点から子どもの虐待について問う。</p> <p>(1) 亀岡市の現況はどうなっているのか。また児童相談所のあり方が問題となっているが、亀岡市はどのような対応をしているのか。</p> <p>(2) 市内ではあのように子どもが赤信号を出している状況において、身の安全は確保できるのか。</p> <p>(3) 子どもから頼られる親でなければならないのに、あのように命を奪われた。亀岡市はもっと子どもを救える道を探るべきではないか。あの事件を見て、教育委員会の所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>選挙管理委員会 委員長</p> <p>教育長 所管部長</p>
2	<p>木曾 利廣 (緑風会) 3月5日(火) 11:20~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 平成31年度予算編成について</p>	<p>平成31年度予算編成基本方針の、市民力で未来を拓く！～選ばれるまち住み続けたいまち～かめおか・未来・チャレンジビジョンの推進を掲げた、桂川市政4年目の予算内容について問う。</p> <p>(1) 平成31年度予算編成は、今後の財政見通しに沿った内容であるのか。</p> <p>(2) 議会で指摘した事業については、どの程度検討・見直しを実施したのか。</p> <p>(3) 恒久的な自主財源の確保のための施策の具体策は何か。</p> <p>(4) 住み続けたい魅力あるまちづくりのための重要な施策として、子育て・教育の充実と安心安全の都市基盤づくりとは。</p> <p>(5) 住環境、自然環境を向上させるまちづくりとは。</p>	<p>市長</p>

		<p>(6) 持続可能な行政運営を念頭に、緊急対策のために必要な財政調整基金の確保はされているのか。</p>	<p>近年増加する地球の温暖化、異常気象による大規模災害への対応が必要と考えるが、その対策について問う。</p> <p>(1) 京都府が進める河川整備計画の平成31年度に実施される取組み、ハザードマップ、本市の豪雨対策及び昨年度の災害被害対策の状況は。</p> <p>(2) 平成31年度の京都府の桂川対策予算と本川・支川の事業内容は。</p>	<p>市長</p>
	<p>2 桂川、支川対策の推進と災害対応について</p>		<p>京都スタジアム(仮称)をランドマークにした、魅力ある、南北亀岡駅周辺のまちづくりの推進について問う。</p> <p>(1) 第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～、シンボルプロジェクトに関わる事業推進の状況について問う。</p> <p>(2) 未来を照らす希望のスタジアム関連事業とは何か。</p> <p>(3) 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想策定事業とは何か。</p> <p>(4) 京都府が計画されている千代川町から保津川下り乗船場までの川下りの計画はどのようなものか。</p>	<p>市長</p>
	<p>3 京都スタジアム(仮称)関連事業について</p>		<p>子育て・教育で憧れのまちとなるためには、子育て支援のさらなる充実が必要である。</p> <p>(1) 子育て支援の一環である、こども医療費の助成のさらなる拡充は。</p> <p>(2) 待機児童ゼロを推進するために、子育て支援策のさらなる充実は。</p> <p>(3) 児童虐待の対策と、子どもの貧困対策の予算確保は。</p>	<p>市長</p>
	<p>4 子育て支援の拡充について</p>		<p>中矢田篠線(篠工区)が平成28年2月に完成し、また、北古世西川線の昨年度の暫定開通により、国道の渋滞は緩和された。しかし、京都スタジアム(仮称)が完成すれば、亀岡のにぎわいが加速して、歓迎する半面、日常生活に影響が出るのではと心配する声があり、さらに国道9号の渋滞が起きると考える。国道9号のダブルルート推進と、北古世西川線の完全整備、さらに馬堀停車場篠線の整備が急がれる。</p> <p>(1) 北古世西川線の完成が望まれているが、完全開通の日程と三宅踏切の状況は。</p> <p>(2) 馬堀停車場篠線の広道交差点から国道9号までの整備の進捗状況は。</p> <p>(3) 市道認定された並河蚊又線の今後の計画は。</p> <p>(4) 緊急災害対策と慢性的な渋滞緩和対策のた</p>	<p>市長</p>
	<p>5 道路行政について</p>			

			<p>めの国道9号のダブルルートの現状は。</p> <p>(5)西日本豪雨で災害の起きた国道423号の改修見通しと、法貴バイパスの府予算確保は。</p>	
		6 篠町西山団地入口の国道9号への信号設置について	<p>住民の40年来の要望は、西山団地入口の国道9号に信号を設置してほしいということである。このことについての取組みを問う。</p> <p>(1) 昨年の国土交通省、京都国道事務所要望の後、大きく前進したと聞かすが、国・京都府・公安委員会での協議内容について尋ねる。</p>	市長
		7 西別院町大堂地区の道路問題について	<p>大堂地区で市道認定と道路拡幅の要望があるが、防犯・防災・通学路の安全対策を問う。</p> <p>(1) 西別院町自治会と大堂地区住民から市道認定に係る要望書があったが、現在、土地の地権者及び関係者との協議は。</p>	市長
		8 鳥獣対策について	<p>年々増加する鳥獣被害の本市の現状と、被害対策を問う。</p> <p>(1) イノシシやシカの個体数を削減するため、高齢化の中、狩猟従事者確保のための対策は。</p> <p>(2) 個体数の削減対策として、本市の補助金をさらに近隣市町並に増額すべきと考えるがどうか。</p>	市長
		9 JR千代川駅整備について	<p>市内で唯一、駅舎整備が進んでいない千代川駅の平成31年度の整備計画を問う。</p> <p>(1) 昨年に引き続き、平成31年度の予算及び実施計画について尋ねる。</p> <p>(2) JRとの協議内容の進展と、事業計画予算は。</p>	市長
		10 公共施設の整備について	<p>旧亀岡会館・旧中央公民館・旧厚生会館の耐震診断結果に伴う解体が進んでいる。駐車場の計画については公表されているが、公的な施設建設について、協議の現状を問う。</p> <p>(1) 平成31年度の解体は予算に上がっているが、その後の土地利用と、市民要望の強い公共施設建設計画の現状は。</p>	市長
		11 教育環境、教育設備の充実について	<p>平成32年4月から実施される学校規模適正化について、本格実施に向けての取組みが進んでいる。実施小学校・中学校、PTAや保護者、地元関係者、また、関係機関との協議が進行しているが、現在どの程度進んでいるのか。また、教育設備の充実について、平成30年度で予算化された小・中学校の空調設置の実施計画について問う。</p> <p>(1) 学校規模適正化で課題になった通学路の安全対策と、学校間の環境格差をなくす取組みの現状は。</p>	市長 教育長

			<p>(2) 受入れ実施校に対する、ソフト面の支援体制の整備についてはどうか。</p> <p>(3) 平成30年度に予算化された空調設置の予定時期は。</p>	
3	<p>三上 泉 (共産党議員団) 3月5日(火) 13:40~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>国の政治によって、国民・市民は営業や暮らしに大きな影響を受け悲鳴を上げている。地方公共団体は、今こそ、市民のいのちと暮らしを守るため、「防波堤」の役割を果たす時である。</p> <p>(1) 国が実施しようとしている、消費税の税率10%への増税について、市長の所見を求める。</p> <p>① 消費税の税率10%への増税とそれに付随する軽減税率設定が、市民及び市内企業・業者に及ぼす影響をどのように考えているか。</p> <p>② 消費税は所得の少ない者ほど負担率が高くなるものであり、消費税に頼らない税制改革を求める声も高まっている。消費税そのものへの考え方と、税制度全般の中における消費税の位置づけについて、どのように考えているか。</p> <p>③ 各地で消費税増税中止や延期を求める意見書や決議が出ている。市長として、消費税増税の中止を求める考えはあるか。</p> <p>(2) 日本共産党は、国民健康保険料を国の公費負担によって引下げる提言を行った。これは全国知事会、全国市長会の要望と全く同じものである。</p> <p>① 全国知事会、全国市長会が国に要望しているが、国保料を国の公費負担で、せめて協会けんぽ並みに引下げることについて、市長の所見は。</p> <p>② そもそも国保料はなぜ異常に高いのか、構造上の問題があると思うが、市長はどのように考えているか。</p> <p>③ 市長としてこれらの要望を重ねて行うべきだが、そのような決意はあるか。</p> <p>④ 京都府内の各市町でも、一般会計からの繰入れなどによって国保料(税)を引下げる努力がなされている。亀岡市においても、緊急の対策として、少しでも引下げるべきではないか。</p> <p>(3) 自衛隊による各市町村への名簿抛出などの協力要請に対し、京都市がタックシールで提供したこと、安倍首相がそういった対応をしない自治体について「協力を拒否している」と発言したことのどちらもが大きな問題となっている。本市の対応について問う。</p> <p>① 亀岡市における状況は。</p> <p>② 個人情報保護等の立場から、この問題に対する基本姿勢は。</p>	市長

		<p>2 選ばれるまち・住み続けたまちについて</p>	<p>市長の任期もあと8カ月となった。市長の公約である「かめおか・未来・チャレンジビジョン」では、「選ばれるまち」・「住み続けたまち」・新たな亀岡市の実現をうたっている。その実現に向けて残された時間はそう多くない。</p> <p>(1) 子育て・教育で憧れのまちについて問う。</p> <p>①チャレンジビジョンでは「心と体をより良く育てる地元産京野菜を使った食育の推進と中学校給食の実施をめざし、導入方法の検討を行います。」とある。昨年12月議会に提出された市民の請願を重く受け止めるとコメントされており、議会も総意として全員制の中学校給食の早期実施を意見している。全員制の中学校給食の実施の見通しは。</p> <p>②早期といっても構想・計画・立案に時間がかかる。デリバリー弁当制の導入と並行して、広く市民の意見も反映される検討委員会を直ちに立上げるべきだと考えるがどうか。</p> <p>③「赤ちゃんがブックスタートで絵本と出会い、学校では朝読書や読み聞かせが行われ、学校図書館には司書が子どもたちに本のコーディネートをしてくれる日本一の読書コミュニティの充実をめざします。」とある。学校司書の配置について、前に進める意思はあるのか。</p> <p>(2) 歳をとっても安心して暮らすことのできるまち・安全安心な地域づくりについて問う。</p> <p>①チャレンジビジョンでは「住民や子どもが安心して利用できる歩道の整備をめざします。」とある。市道に係る歩道の新規設置や危険箇所の整備などの必要性について、現状をどのように把握しているか。</p> <p>②古い開発住宅地では道の幅員が狭く、歩道があっても斜めにカットされて傾斜がきつく、高齢者にとっては歩くのに大変不安を感じられることが多い。対応策が必要なわけではないか。</p> <p>③新しい市道が開通し、車の移動は便利になったが、その分、スピードを出した車が増え、歩道にも自転車が走り、歩行者にとっては危険な側面も増えている。街灯が少なく、暗くて不安だという声もある。市道中矢田篠線及び市道北古世西川線をはじめ、各市道での危険箇所の把握と街灯設置の計画は行われているか。</p> <p>④コミュニティバスの試験運行が行われているが、どの地域でも、「免許証返納をと言われるが、自家用車を手放したら、いったいどうやって移動すればよいのか。」との声が寄せられ、きめ細やかなバス運行やデマンド交通が求められている。これらの施策の充実についての見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	-----------------------------	---	--------------------

		<p>3 長時間過密勤務の解消など教職員の働き方の改革について</p>	<p>⑤篠町もコミュニティバスの運行がなされているが、亀岡駅までの延伸では利用価値を見いだせない。市役所やガレリアまでの延伸でこそ、利用数が大幅に増えるのではないか。</p> <p>⑥篠町内では、本当にコミュニティバスが必要な王子地域や西山地域には行き届いていない。これらの地域の交通対策をどう考えているのか。</p> <p>⑦10年、20年先を見越して、これらの課題に対応するまちづくりこそが必要ではないか。目先の課題にとらわれない思い切った総合的なまちづくりの視点に立つべきだと思うが、市長はどのように考えるのか。</p> <p>(3) 安心できる都市基盤整備が整ったまちづくりについて問う。</p> <p>①スタジアムより河川整備が先ではないか。</p> <p>②京都府に対して、土木予算の増額とそれらを災害復旧や道路・河川の整備に充てるよう強く求めるべきではないか。</p> <p>全国どこでも教職員の働き方が取上げられ、その改革が進められつつある。本市においても、依然として教職員の時間外勤務がかなりある状態が続いている。</p> <p>(1) 現状をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 解決に向けた方策をどのように考え、取り組むのか。</p> <p>(3) 労働安全衛生についての協議の場を学期に1回程度開催して実態把握を行い、検討内容を全教職員に知らせているが、今後もその継続・充実を図るのか。</p> <p>(4) 現場の教職員の声を取入れた業務内容の精選や改革が求められているが、その決意と具体化の見通しは。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
4	<p>富谷加都子 (公明党議員団) 3月5日(火) 15:20~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 健康寿命延伸について</p>	<p>人生100年時代を迎え、加齢に伴う虚弱化(フレイル)を遅らせ健康寿命を延伸する取り組みは最優先課題である。亀岡市は、介護予防として様々な取り組みを実施している。市民からは、期間限定であることと、足の確保に課題があると聞く。今後、取り組みを進化させ、多くの人の参画を得て、身近な地域の通いの場でフレイル対策を展開できることを期待する。</p> <p>(1) 現在、市が実施している健康づくりの現状は。(内容と参加人数)</p> <p>(2) フレイル対策について市の見解は。</p> <p>(3) フレイルのリスクを身近に確認できる、市独自のチェックシートを作成してはどうか。</p> <p>(4) 各地域の通いの場の数値目標があったが、現状はどうか。</p> <p>(5) 介護予防サポーターが、フレイル予防のリーダーとして、専門家の指示のもと活躍することを期待するがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 かめおかプラスチックごみゼロ事業について</p>	<p>(6) 健康寿命延伸には、オーラルフレイルも大事な視点である。本市の取組みは。</p> <p>世界においてプラスチックごみによる海洋汚染が、生命破壊の原因になる状況にあり、深刻である。2015年9月に国連で採択されたSDGsの中では、2025年までにあらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅削減するという具体的な目標が掲げられている。亀岡市においても、三大観光に関連する保津川のごみ問題は、身近に感じる大きな問題である。そこで、汚染の原因の1つとされるプラスチックを減らすため、平成30年12月13日に京都初の「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発表した。今後、市民協力のもと、世界に誇れる環境先進都市が実現することを願う。</p> <p>(1)かめおかプラスチックごみゼロ宣言の経過と、市長の想いを問う。</p> <p>(2)平成31年度実施される、具体的なスケジュールは。</p> <p>(3)レジ袋有料化に向け、協力いただけた事業所の進捗状況は。</p> <p>(4)取組み推進にあたり、市民の合意が必須である。具体的な取組みは。</p> <p>(5)観光客に向けた周知は。</p> <p>(6)保津川漂着ごみ発生抑制のために、保津川の日に清掃活動を行っているが、今後、亀岡市の主な支川と同時開催とし、一斉美化運動として広げてはどうか。</p> <p>(7)2020年目標のレジ袋禁止条例制定にあたり、市民から抽出している課題は何か。</p> <p>(8)その課題解決に、どう対処していく考えか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 京都スタジアム（仮称）企画推進について</p>	<p>いよいよ、京都スタジアム（仮称）が姿を現し、来年のオープンに向け、力を結集する本年を迎えた。そのような中、市民の身近な要望として、不足するスポーツ拠点としての利用や、旧亀岡会館除却の影響から、コンサート会場としての利用の要望を多く聞く。</p> <p>(1)京都スタジアム（仮称）内外に、市民に開放されるスペースがあるのか。あるのであれば具体案を問う。</p> <p>(2)大河ドラマ館は開設期間が限定されているが、収集した資料を今後の観光誘客のために残す考えは。</p> <p>(3)京都スタジアム（仮称）や大河ドラマ館開設にあたり、多くの人材確保が必要となる。ボランティアに取組む市民の活動が力となるが、人材確保の取組みはあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 風疹について</p>	<p>国内で感染が拡大している風疹について、公明党の提案を受け、厚生労働省は定期予防接種の機会がなかった現在39歳から56歳の男性を対</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>5 図書館の充実について</p>	<p>象に、2019年から2021年度末までの3年間、原則無料でワクチン接種を実施する方針を発表した。亀岡市において、2020年の京都スタジアム(仮称)オープンや大河ドラマ放映に伴い、多くの人交流する。より多くの人抗体検査を受け、感染予防に努めなければならない。</p> <p>(1) 風疹予防接種の抗体の保有率は。</p> <p>(2) 風疹予防接種の周知方法は。</p> <p>(3) 妊娠を希望する人への周知は難しいと考える。1つの方法として婚姻届受理の際、チラシを配布してはどうか。</p> <p>(4) 今回の予防接種が成人男性を対象にした場合の周知方法は。</p> <p>(5) 多くの人に抗体検査を受けていただくには配慮を要する。現役世代の男性に配慮し、夜間や休日の体制整備が必要と考えるがどうか。</p> <p>(6) 職場での定期健診の際、抗体検査が可能なように市内の企業に働きかけはできるか。</p> <p>本市に図書館が開設され、半世紀が過ぎた。その間、子どもから大人まで多くの人利用し、知の取得、情報共有、癒しの空間として市民生活に潤いを提供してきた。他市においても図書館は、まちづくりの中で大きな位置付けにあり、生涯学習の視点からも大切な公共施設である。今後も、時代に適合し、市民の多種多様なニーズに対応し、子育て支援拠点や他世代の交流拠点、さらには観光拠点として、まちづくりに生かす役割を期待する。</p> <p>(1) 図書館の魅力は無限と考える。今後、本市が目指す図書館の役割とは。</p> <p>(2) 図書館を多くの人に利用していただくには、駐車場の確保が大切である。中央館の駐車場は他の公共施設と併用であり、手狭である。今後、図書館利用者のサービス向上のため、駐車場の確保はできるか。</p> <p>(3) 子育て中のお母さんから、「幼児の間に多くの絵本に触れさせてあげたい」などの要望を多く聞く。生まれて初めて多くの本に出会える機会の創出は、図書館の役目である。絵本を広げられるスペースが十分確保され、多くの絵本に囲まれる環境が整えられれば、他市からの来館も期待でき、若者世代へのアピールにもつながる。特に、ギャラリー分館や中央館は、手をかければ可能と考えるがどうか。また、楽しい展示や講演などの取組みはあるか。</p> <p>(4) 世代交流イベントとして、全国各地の公共図書館でビブリオバトルを開催している。新たな読書の楽しみ方として開催してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	---------------------	--	--------------------

		<p>6 幼児教育・保育無償化について</p> <p>7 投票しやすい環境整備について</p>	<p>政府は、2月12日に幼児教育・保育を無償化する子ども・子育て支援法改正案を閣議決定した。</p> <p>幼児教育・保育無償化は、大切な人格形成の基礎となる幼児期の教育を確保する重要な取組みである。今年10月の円滑実施に向けた本市の取組みを問う。</p> <p>(1) 幼児教育・保育無償化の対象施設は。</p> <p>(2) 事業者との連携など、実施に向けた取組みは。</p> <p>(3) 入園増を予測し、受け皿確保の体制は。</p> <p>今年、亀岡市議会議員選挙に始まり、京都府議会議員選挙、国政選挙、亀岡市長選挙と選挙の年である。本市として、投票したい人が投票できる環境を整備することは大切である。</p> <p>(1) 高齢化に伴い、投票所までの足が確保できず断念する人がいる。特に、期日前投票を利用しやすくするために、臨時バス等の送迎は必要と考えるが可能か。</p> <p>(2) 期日前投票所を、今後増設する考えは。</p> <p>(3) 選挙管理執行を経験し、政治への関心を高める手法として、青年層に投票立会人を任せる考えは。</p> <p>(4) 直近の亀岡市議会議員選挙を終え、投票率向上に向けた今後の取組みはあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 選挙管理委員会 委員長 所管部長</p>
5	<p>菱田 光紀 3月6日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 府道亀岡園部線の改良について</p> <p>2 市道中矢田篠線の亀岡インターチェンジまでの延伸について</p> <p>3 危険ため池の廃止について</p>	<p>府道亀岡園部線の春日坂交差点から国道9号古世口交差点までの道路改良については、以前から大きな地域課題であると同時に、大型店が並ぶ交通量の多い市街地道路でもある。</p> <p>(1) 数年前から、雑水川の改修に合わせて春日橋、春日小橋の架替えが終われば道路の拡幅にかかると言われてきたが、進捗状況は。</p> <p>(2) 横町等の沿線住民にアンケート調査をされたようだが、どのような内容か。</p> <p>(3) アンケート調査の結果は。</p> <p>(4) 今後の進め方は。</p> <p>朝のラッシュ時には、市道中矢田篠線から府道枚方亀岡線を経由し、国道9号下矢田交差点から市役所方面へ向かう車が多い。また、夕方には逆方向がかなり混雑する。</p> <p>(1) 交通量についての調査状況はどうか。</p> <p>(2) 予定ルートが2つあると聞いたが、どのようなルート案があるのか。</p> <p>(3) 今後の進め方は。</p> <p>昨年の7月豪雨による各地の被害状況を見た時、亀岡市内で危険度が高いとされているため池の廃止に向けた取組みが必要である。</p> <p>(1) 亀岡市内の危険ため池の数と保全状況はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 新規就農支援について</p>	<p>(2) そのうち亀岡地区の危険ため池の数と危険度はどうか。</p> <p>(3) 平成31年度には廃池に向けた法制化と予算措置がされると聞いているがどうか。</p> <p>新規就農支援制度の名称が「農業次世代人材投資事業」に変わり、年齢制限も原則45歳未満から50歳未満までに上げられる。</p> <p>(1) その狙いと期待できる効果はどうか。</p> <p>(2) 亀岡の農業にどのような良い影響が期待できるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
6	<p>竹田 幸生 3月6日(水) 10:35~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 保津川下りの新たな船着き場について</p> <p>2 JR千代川駅利用における社会的弱者に対する対応について</p> <p>3 通学路の安全対策の経過と今後の考え方について</p> <p>4 府道宮前千歳線の千代川町地内における整備について</p>	<p>京都府は京都スタジアム(仮称)の完成に合わせて、JR千代川駅付近に新たな船着き場を整備すると発表された。千代川町のにぎわいを、大いに歓迎するところである。亀岡市においても一定の整備が考えられる。</p> <p>(1) 船着き場が確定されると道路整備が必要になると考えるがどうか。</p> <p>(2) 構想路線である右岸道路との関係はどうか。</p> <p>JR千代川駅はバリアフリー基本構想に基づき整備が進められている。しかし、ホーム間の移動に大きな課題が残されている。</p> <p>(1) ホーム間の移動に課題を抱える利用者に対してどのような支援策が行われているのか。</p> <p>(2) 今後の支援策の充実はどうか。</p> <p>千代川小学校前の市道川関小林線の危険性は、依然として大きな問題である。</p> <p>(1) 現在の道路形状で、速度規制の変更は困難とは具体的にどのようなことか。</p> <p>(2) ハンプや狭窄等の設置について、自治会・公安委員会・関係機関との連携の進捗状況はどうか。</p> <p>現在、京都府において整備が行われている鳴滝工区、千原交差点、JR今津踏切について進捗状況を確認する。</p> <p>(1) 鳴滝工区については、平成30年度当初予算が減額されて実施されているが、事業の進捗と今後の計画はどうか。</p> <p>(2) 府道と国道が交差する千原交差点は、改良が間もなく予定されているが進捗はどうか。</p> <p>(3) JR今津踏切内の区画線は、色分け標示で安全性が向上したが、踏切内の路面整備や市道のカラー標示などの課題が残っているがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>

		5 亀岡市高野林・小林土地区画整理事業について	<p>先般、国土交通大臣政務官による国政視察が行われた際、近畿地方整備局長の事業推進に力強い発言があった。</p> <p>(1) どのような内容であったのか。</p> <p>(2) 事業地内の市道に対する国庫補助等の状況はどうか。</p>	所管部長
7	<p>並河 愛子 3月6日(水) 11:10~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国民健康保険事業について</p> <p>2 並河駅地下道のバリアフリー化について</p> <p>3 中学校給食の実施について</p>	<p>国民健康保険料は、国民の4人に1人に及ぶ加入者が貧困化・高齢化する一方で、国が国庫負担を抑制し続けたため、高額な保険料となっている。その上、国保料にだけ世帯人数が多いほど高くなる「均等割」があるため、中小企業の従業員が加入する協会けんぽと比べ、家族が多いと2倍にもなり、高額な国民健康保険料が市民の生活を圧迫している。早急な改善が求められる。</p> <p>(1) 本市における加入世帯の実態はどうか。</p> <p>(2) 国保料の値上げを抑えるため、京都府内でも一般会計から特別な繰入れを行っている自治体もある。府内他市町村の状況はどうか。</p> <p>(3) 本市においても国保会計の財政調整基金や一般会計からの特別な繰入れを行うことは、制度上不可能ではないということでしょうか。</p> <p>(4) 本市においても独自に国保料の引下げを行うべきではないか。</p> <p>(5) とりわけ子育て世代にとっても国保料の負担は大きい。岩手県宮古市では、子どもの均等割を免除する2019年度予算案が発表され、高校生までが対象とされている。本市の場合もせめて子育て世代だけでも先行して負担を軽減すべきではないか。</p> <p>高齢化が進み安全・安心なまちづくりが求められている。並河駅地下道については供用開始から30年が経過し、高齢化が進む中、スロープ部の拡幅を求める要望が強く、安心して利用できる地下道が求められている。</p> <p>(1) スロープ部の拡幅実施について計画があるが、今後の見通しはどうか。</p> <p>中学校給食については、京都府下でも実施や方向性が明らかにされていないのは本市だけとなった。昨年12月議会においては、1カ月近くで6千筆を超える署名を集めた請願が提出されており、多くの関係者の願いとなっている。平成28年11月に亀岡市中学校給食のあり方検討委員会の提言が出されており、特に食育の重要性は各委員の共通認識として存在し「学校現場をはじめ亀岡市全体で積極的な食育の機会を創出し、子どもたちへの正しい理解と知識を提供していくことが必要」となっている。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>4 就学援助制度について</p>	<p>(1) デリバリー弁当方式を打出した本市の中学校給食のあり方の提言に対して、全員給食を打出した京田辺市や精華町など、他市町の提言とは考え方が根本的に異なっている。これらの他市町の取組みを把握し、参考にされたのか。</p> <p>(2) 新年度から市内全中学校で、デリバリー弁当方式を実施される。これまでの単価400円を350円にされるが、学校給食ではないため、生活保護や就学援助の対象外となる。その点での考えはどうか。</p> <p>(3) 市長は公約で中学校給食の実施を掲げられているが、現役世代を応援するためにも早期の実施が求められる。そのためにも検討委員会の立上げは急務である。</p> <p>① 検討委員会で議論する際には、給食か弁当などの議論ではなく、全員制の給食を行うという将来像をしっかりと堅持したところから出発する必要があると考えるがどうか。</p> <p>② 検討委員は、広く市民からも公募して、多くの保護者や市民が議論に加われるようにすることが大事だと考えるが、そのような検討委員会にすべきではないか。</p> <p>就学援助制度は、小・中学生のいる世帯に学用品、修学旅行費、給食費、医療費などを援助する制度である。これは憲法第26条の「義務教育は無償」、学校教育法第19条「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」に基づいている。</p> <p>(1) 入学準備金の支給が本市においても入学前に実施され歓迎されている。平成31年度の申込みや、実施状況はどうか。</p> <p>(2) 2010年度から支給項目にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の支給が加えられた。子どもの貧困が叫ばれる中で、市町村によって支給されないのは問題ではないか。制度の存在自体を積極的に告知されないのか。実施すべきだと思うがどうか。</p> <p>(3) 今年から国の制度の対象項目に、卒業アルバム代が新設された。</p> <p>① 今後、本市として実施すべきであると考えがどうか。</p> <p>② 学校によっては個人負担が違っていると聞かすが、具体的に小・中学校での保護者負担の金額はどれくらいであるのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
8	<p>福井 英昭 3月6日(水) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 行政の広域化について</p>	<p>一部事務組合で行う施策も含めて、行政の広域化を行うことを提案してきたが、市長は早速に動いていただき、広域化の足掛かりをつくっていただいたと思っている。</p> <p>(1) この間の経緯と経過は。</p>	<p>市長</p>

		<p>2 かめおかプラスチックごみゼロ宣言について</p>	<p>(2) 現在までの成果は。</p> <p>かめおかプラスチックごみゼロ宣言は、昨年12月13日に市議会と一緒に宣言された。このことについて当時の第16期議員の認識は、その方向を目指すというものであったが、このことについて改めて問い、確認する。</p> <p>(1) 12月議会最終日頃に報道されたが、2020年度までに罰則付きのプラスチック製レジ袋の全面使用禁止条例を制定すると市長が発言したことは事実か。</p> <p>(2) 私を含めて当時の第16期議員には、条例制定までの認識はなかったと思っているが、このことについての認識はどうか。</p> <p>(3) 改めて、条例制定までの道筋を問う。 プラスチックごみゼロを目指す第一歩だと思うが、すでに行ってきた市民への説明会について問う。</p> <p>(4) 日本で一番にレジ袋禁止に取り組むことで補助金が出るので、それを使って次の手を打っていくと述べたのは本当か。</p> <p>(5) マイバック100%めざそうプロジェクト・リバーフレンドリーレストランプロジェクト・いつでも、どこでも「亀岡のおいしい水」プロジェクト・プラごみゼロでまちのしごと応援プロジェクトとは何か。 レジ袋以外のプラスチックごみについて問う。</p> <p>(6) プラごみはレジ袋だけではない。その他のプラごみの処理の現状はどうか。</p> <p>(7) その他のごみについて、どのような運動をしていくのか。</p> <p>(8) 亀岡市だけが頑張るとしても、桂川流域に限っても問題は解決しない。隣接自治体の取り組みも必要であるが、近隣自治体の動向は。</p> <p>(9) レジ袋の有料化には賛同できる。しかし、完全に無くすこととすると、このまちは日本の中で、最も住みにくいまちになってしまうのではないかと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 亀岡駅北土地区画整理事業地内の校区の決定について</p>	<p>亀岡駅北土地区画整理事業地内に計画中の住宅地の内容と、その地域の学区の決定について問う。</p> <p>(1) 亀岡駅北土地区画整理事業地内の住宅数の見込みは。</p> <p>(2) そこに住まう生徒数の見込みは。</p> <p>(3) 住宅募集が始まる前に学校区を決めなければいけないが、地域性、通学路問題、遠近を含めて、整理しなければならない課題があるが、何を優先するのか。</p> <p>(4) 校区を決めるのに、教育委員会だけで決めてよいのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		4 中規模ライブハウスの誘致について	<p>亀岡駅周辺にライブハウスを誘致することについて問う。東京オリンピック・パラリンピックを前にして、ライブハウスの需要は、東京・大阪・京都をはじめとする大都市圏にあるが、ライブハウスは使用され続けていて、まさに満杯状態である。もっと建設したいが、土地が高く、新たに建設したのでは収支が合わないようである。そのような意味で、亀岡駅周辺はベストだと考える。また、場所さえあれば、会社が建設してくれるところもある。そして一年中、集客することができる。</p> <p>(1) 亀岡にライブハウスを誘致することについて、所見は。</p>	市長 所管部長
9	平本 英久 3月6日(水) 13:35~ ※一問一答	<p>1 移住・定住促進対策について</p> <p>2 子育て世代が安心して子育てできる環境整備について</p> <p>3 全国的に問題となっている自殺対策について</p> <p>4 本市における防災や減災、災害復旧対策について</p>	<p>本市においてさまざまな取組みを行っている移住・定住促進について問う。</p> <p>(1) 本市における移住・定住促進事業の現状と成果はどうであるのか。</p> <p>(2) 移住・定住促進の拡充に向けて、新たな取組みは検討しているのか。</p> <p>子どもたちや子育て世代が、安心して住めるまちづくりに向けた本市の取組みについて問う。</p> <p>(1) 本市における待機児童ならびに潜在的待機児童の現状はどうであるのか。</p> <p>(2) 放課後児童会の利用の現状と改善の必要性はどうであるのか。</p> <p>(3) 子どもの貧困についての本市における現状と考え方はどうであるのか。</p> <p>(4) 子どもの権利条例の制定を受けて、本市として子ども関連の施策に、今後どのように生かし推進していくのか。</p> <p>全国的には減少傾向にあるが、今なおなくなる事のない自殺の対策について問う。</p> <p>(1) 本市における自殺の現状と動向はどうであるのか。</p> <p>(2) 現状の防止対策や防止体制はどうであるのか。</p> <p>(3) 自殺対策計画策定の進捗はどうであるのか。</p> <p>(4) 今後どのような対策を検討し命を救っていくのか。</p> <p>昨年は豪雨や台風など多くの災害により甚大な被害に見舞われたが、本市における今後の対策について問う。</p> <p>(1) 昨年の度重なる災害を通して検証は行ったのか。</p> <p>(2) 被災時の対応や備蓄のあり方について何か課題はあったのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

10	<p>長澤 満 3月6日(水) 14:10～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市民生活に身近なインフラの整備について</p> <p>2 亀岡会館の廃止後の文化施設の検討について</p>	<p>本市の住宅地域や山間地域における市民生活に身近な、住民にとって切実であるインフラ整備の課題について、本市の方針を問う。</p> <p>(1) 南つつじヶ丘や東つつじヶ丘曙台において、タイワンフウ等の街路樹の成長に伴い、災害時の倒木や飛散による被害、平常時の根・枝の延伸や隆起による歩道や民家の障害が発生している。</p> <p>①本市として、災害時の被害に対する対応措置はどうか。</p> <p>②本市として、平常時の障害に対する対応方針はどうか。</p> <p>③街路樹の処理に係る住民の合意形成やルールづくりに対する本市の方針はどうか。</p> <p>(2) 東別院町等の府道の一部(枚方亀岡線、茨木亀岡線、東掛小林線、柚原向日線(西別院町内))は、いまだ1車線の未改修部分が残されており、住民の生活や業務の交通に不便と危険をもたらしている。</p> <p>①本市として、この現状をどう認識しているか。</p> <p>②京都府に対する予算要望等において、時期を明確にしてこれらの府道を整備することを強く要望するべきではないか。</p> <p>(3) 水道未整備地域である東別院町において、住民が飲用水等の確保に苦勞しておられる。当該地域に関して問う。</p> <p>①水源の確保に係る補助制度は、どのような制度があるのか。拡充を検討するべきではないか。</p> <p>②渇水時や災害時の支援措置は、どのような措置があるのか。拡充を検討するべきではないか。</p> <p>③「亀岡市水道ビジョン」の期間終了を踏まえて、当該地域の今後の水道整備の方針をどう考えるか。</p> <p>長く市民に親しまれてきた亀岡会館が廃止となる一方、市民から「文化・芸術の発表や鑑賞ができる便利な会館施設が必要である」との希望が寄せられている。亀岡会館の廃止後の文化施設の整備について、本市の方針を問う。</p> <p>(1) ガレリアかめおかや他の主な会館施設は、市民の様々な利用のニーズに対し、量的側面(使用する頻度)や質的側面(使用する機能)において、充足できていると考えるか。</p> <p>(2) 旧亀岡会館の跡地を駐車場として使用することは、本市の資産の有効活用であると考えるか。</p> <p>(3) 旧城下町地域から亀岡駅前地域に至る一帯の、地域資源を生かしたまちづくりに資する文化施設の整備が必要ではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	---	--	---	---------------------------------------

			(4) 以上のような課題を含め、亀岡会館の廃止後の文化施設のあり方について、文化・芸術の発表者や鑑賞者を含む市民参加によって、検討に着手するべきではないか。	
11	石野 善司 3月6日(水) 15:05~ ※一問一答	1 民生委員の高まる役割と高齢化で増す負担について	民生委員は1人暮らしの高齢者や身体障害者、ひとり親家庭などの身近な相談相手として地域を支えていただいている。制度がスタートしてから100年を超えた今も、特別職の非常勤の地方公務員として、無報酬で活動していただき、地元を根ざし、住民の課題を受け止めて行政などにつないでいただいている。しかし、急速に進む高齢化やひとり親世帯の増加などで負担が拡大し、なり手不足という課題にも直面している。本年12月には委員が一斉に改選される。地域福祉に欠かせない人的インフラの存続に向けて民生委員の活動について問う。 (1) 民生委員・児童委員の任用の仕組みは。 (2) 民生委員・児童委員の活動状況は。 (3) 本市での充足率は。 (4) 地域行事への参加対応は。 (5) 範囲外の仕事を依頼された場合の対応は。 (6) 民生委員・児童委員の活動費は。 (7) 活動しやすくするため、個人情報の取扱いの共有化についての考えは。 (8) 支援者の名簿づくりと共有化についての考えは。 (9) 家庭児童相談室の充実についての考えは。 (10) 今後の課題は。	市長 所管部長
		2 コンビニでの各種証明書の発行サービスについて	各種証明書の取得の利便性を高めるとともにカードの交付率アップにもつながると導入を決定した。 (1) 現在の交付率は。 (2) 交付できる証明書は何種類か。 (3) 対応できるコンビニは。 (4) 導入コストが高い割に、マイナンバーカードの取得者が少なく、メリットが小さいと聞くが実態は。 (5) カードは身分証明書以外の使い道がほとんどなく、全国的にも普及が進んでいないと聞くが実態は。 (6) 今後の課題は。	市長 所管部長
		3 亀岡運動公園体育館改修時の利用料について	亀岡運動公園体育館は空調設備改修のため一時使用が制限される予定である。 (1) 一時利用料金改定の考えはあるのか。 (2) 今後の課題は。	市長 所管部長
		4 スポーツツーリズムによるまちの活性化について	スポーツ体験や観戦を楽しむことをコンテンツとしたスポーツツーリズムへの期待は高まっている。2019年のラグビーワールドカップ日本大会、2020年の東京オリンピック・パラリ	市長 所管部長

			<p>ンピック、2021年の生涯スポーツの祭典ワールドマスターズゲームズ2021関西と、国際的なスポーツイベントが国内で相次いで開催されるゴールデン・スポーツイヤーズを迎える。地域のスポーツツーリズムに弾みをつけようと、スポーツの聖地を目指した取組みが全国で加速し始めている。</p> <p>(1) 本市の考えは。</p>	
12	<p>赤坂マリア 3月6日(水) 15:40~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 職員のマナー向上について</p> <p>2 高齢者の居場所づくりについて</p>	<p>市職員のコミュニケーション、特に挨拶について、得意な人と苦手な人の差がありすぎると以前から感じている。2020年には京都スタジアム(仮称)の運用開始、大河ドラマ「麒麟がくる」の放送など、全国から注目を浴び、また、全国から人が集まる最大のイベントがスタートする中、職員の挨拶や規律が重要である。</p> <p>(1) 庁舎のエレベーターの張り紙に、エレベーターは小さな社会「コミュニケーションの基本は笑顔と挨拶」と書かれているが、それを実現し、市民へのサービスを向上させるために、今後、亀岡市としてどのように取組んでいくのか。</p> <p>職員の教育について、担当部署をしっかりと設けて、職員の活力向上、また、市民サービスの向上に力を注いでいくことが必要だと考える。</p> <p>(2) 現在、職員を教育する担当部署はあるのか、また、マニュアルなどは存在するのか。</p> <p>(3) どのような教育をしているのか。</p> <p>早急な対応が必要だと考える。この問題は、市民からもたくさんの意見をいただいております、また、亀岡市役所のフェイスブックにも2年前、市職員が挨拶をしないことについて指摘のコメントがあったところである。</p> <p>(4) 2年たった今でも改善されていない現実、残念で寂しく感じたが、どのように考えるか。</p> <p>(5) 担当部署を設けたり、外部からコンサルタントを入れて職員研修をするなど、可能性として考えられる施策は。</p> <p>現在、全国でも高齢者の居場所づくりが問題になっている。亀岡市内においても、各町で高齢者に対しての地域交流会やふれあいサロンなど、さまざまな取組みが行われているが、2025年以降になると、75歳以上の高齢者が亀岡市内においても約1万5千人以上になる。</p> <p>(1) 戦前・戦中・戦後、また団塊の世代で、一生懸命、大変な思いをして生きて来られた高齢者に楽しんでもらうために、多世代型レジャー施設などの居場所を、できるだけ駅から近い場所に早急に設置する必要があると考えるがどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

			<p>先日、ある施設などに慰問に行ったが、皆、声をそろえて「高齢者の行く、楽しめる場所がない」と言っておられた。また、コミュニティ食堂のボランティアに参加した際、「亀岡会館も取り壊され、趣味を持つ多くの高齢者が発表する場もない。なぜ取り壊したままなのか」と多くの人が嘆いておられた。</p> <p>(2) この現状をどのように考えるか。</p> <p>高齢者にとっては、数年後の話より毎日毎日がとても大切であり、できることから、今すぐ行動に移すことが何よりも必要だと考える。元気で生き生きとした高齢者が増えると、それを支える若い世代の負担も少なくなる。また、人は誰でも年をとるものであり、高齢者のことを考えることは私たちの未来を考えることに等しい。</p> <p>(3) 必要なのは、子どもからお年寄りまでのあらゆる世代が集い、交流できる、例えば健康ランドのような多世代型レジャー施設だと考える。理想ではなく現実、今どうするかを真剣に考えていただきたいと思うがどうか。</p>	
13	<p>田中 豊 3月7日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 元号の使用について</p> <p>2 JR千代川駅のバリアフリー化について</p>	<p>新天皇が5月1日に即位される。これに伴い元号も変わる。</p> <p>(1) 元号とは何か。</p> <p>(2) 本市を含め、役所や裁判所などの公的機関が元号を使用しているため、戸籍や免許証、不動産登記など公的書類の日付は西暦ではなく元号で表記されているが、公的機関の元号使用を定めた法律はあるのか。</p> <p>(3) 国民主権の世の中に、役所が根拠もなく元号を使うのはどうか。</p> <p>(4) グローバル化や国際力アップというのなら、役所の表記を西暦に統一するべきではないか。</p> <p>(5) システムの改修費用はいくらか。</p> <p>共産党議員団は、昨年12月にくらしのアンケート調査を実施し、多くの市民の皆さんから回答が寄せられた。例えば、千代川町の30代の方からは「千代川駅にだけエレベーターがないため、車いすの方やお年寄り、ベビーカーを使う世代、旅行者にとってもすごく不便である。早急に取り付けてほしい。エレベーターの設置がないのは亀岡市内では千代川駅だけではないか。」という声が寄せられている。共産党議員団は、アンケートに寄せられた声を南丹土木事務所やJR西日本京都支社に届け、要望してきた。</p> <p>(1) JR千代川駅の改築に関して、JRと結んだ協定の内容はどのようなものか。</p> <p>(2) 費用の負担割合はどうか。</p> <p>(3) バリアフリー化は急務であると思うがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 水道民営化について</p> <p>水道事業を民営化するための改正水道法が昨年12月6日成立した。公共サービスの市場化の流れは、命の水にまで及んできている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>(1) 水循環基本法第3条第2項は、水が国民共有の貴重な財産であり、公共性の高いものであることに鑑み、水については、その適正な利用が行われるとともに、全ての国民がその恵沢を将来にわたって享受できることが確保されなければならないことと規定しているが、所見を求める。</p> <p>(2) 改正水道法に対する所見を求める。</p> <p>(3) 改正水道法第5条の3や新設された第5条の4によれば、広域化が事実上、国や都道府県のトップダウンで、広域化に加われとなりかねないと思うが、所見を求める。</p> <p>(4) 改正水道法では、第24条の4から第24条の13までの10条が新設され、水道施設運営等事業の導入に関して規定しているが、所見を求める。</p> <p>(5) 水道の安全・安定を将来にわたって市民に供給できる体制こそが必要であると思うが、所見を求める。</p>	市長 所管部長
		<p>4 西部地域の消防署の設置について</p> <p>共産党市議会議員団が実施したくらしのアンケートや市議会のがまちトークでも、西部地域に消防署を設置してほしいという声が出ている。</p> <p>(1) 西部地域の消防署の設置の必要性をどう認識しているのか。</p> <p>(2) 京都中部広域消防組合へ要望したのか。</p>	市長 所管部長
14	<p>大塚 建彦 3月7日(木) 10:35~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 超高齢化社会の到来に向けて</p> <p>2025年問題として、団塊の世代がすべて75歳以上になり、同時に現役世代人口の減少とも重なり、地域での支える力が重要となる。亀岡市では健康福祉部が中心となり、亀岡市社会福祉協議会、自治会、包括支援センター、現場の在宅、施設介護事業者が国の施策を基に「住み慣れたわが町で、要介護状態になっても、自分らしい生活を最後まで送れる」まちづくりを目指している。</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの市民への啓発活動は進んでいるのか。亀岡市の広報キラリ亀岡おしらせ版以外での周知方法について問う。</p> <p>(2) 共生型社会の構築も含め、高齢者や子どもで障害のある方々が、様々な情報を持ち寄り、楽しく過ごせる居場所づくりは、現在どのように進行しているのか。</p> <p>(3) 認知症サポーター講座の進捗状況について、現時点の認知症サポーター講座修了者の人数と、どのような活動を想定しているのか。</p>	市長 所管部長

		<p>2 災害時の緊急対応について</p>	<p>昨年の西日本豪雨で亀岡市は京都、大阪に通じる交通網がすべて遮断され、陸の孤島と化した。その結果、市民の命を守る地域災害拠点病院の京都中部総合医療センターでは約6割の医師が出勤できず、亀岡市立病院においても当時15人の常勤医のうち出勤できた2人と非常勤の医師1人の3人で対応された結果、外来診療は中止、救急体制もとれないという状態に陥った。</p> <p>陸の孤島化を解消するには、京都縦貫道の早期開通が京都と亀岡を結ぶ上で、最も迅速に対応できる手段と考えられる。</p> <p>(1) 現状、京都縦貫道全線の安全確認が開通の基本条件とされているが、せめて篠・沓掛間の安全確認ができれば開通できるというような緩和策を、NEXCO西日本や主管官庁である国土交通省にお願いできないか。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>3 外国人技能実習生の受入れについて</p>	<p>昨年12月に成立した改正入管難民法を受けて、政府は介護や農業をはじめ14業種で特定技能という新たな在留資格を創設した。亀岡市にも新制度を利用して介護の分野で外国人の労働者を雇用する事業所がある。亀岡市は外国人労働者や事業所に対し、どのような支援体制を考えているのかを問う。</p> <p>(1) 現行ではすべての費用は雇用する事業主が負担することになっているが、労働者の居住に対して家賃や改装費用の助成の考えは。</p> <p>(2) 雇用者以外での日本語学習の充実についての考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 通学路、生活道路の安全確保について</p>	<p>通学路、生活道路の安全確保について、以下の点について問う。</p> <p>(1) 本町地内の市道の損傷が著しく、現在、改修工事が行われている。地元自治会は、当該道路の側溝の一部に溝蓋がない箇所が見受けられ、児童や高齢者の歩行時や、近年頻発する短時間豪雨により急流が発生した際、転落すると大変危険であるため、亀岡市に対し早期の溝蓋の取付け工事を要望しているが、工事の予定について問う。</p> <p>(2) 亀岡市下矢田町1丁目地内に側溝転落防止のガードレールが施工してあるところがあるが、1.2メートルにわたり欠損している。溝は深く底まで160センチある。過去に転落され、けがを負われた事例もあり、担当課にガードレールの取付けを要請されているが、今後の方針について問う。</p> <p>(3) 府道亀岡園部線、古世口交差点から春日坂交差点までの道路拡幅工事の今後の予定と、昨年2月の地元説明会で出された地元住民の意見の概要は。</p> <p>(4) 矢田口交差点は亀岡小学校、亀岡中学校の通学路になっている。国道9号を横断する</p>	<p>所管部長</p>

			(3) 安全対策について、安詳小学校区で実施されているような制限速度の引下げ、ポールやガードレールの設置等の予定は。	
16	浅田 晴彦 3月7日(木) 13:00~ ※一括	1 防災・減災について 2 川東地域の現状について 3 子育て支援について	<p>これまで各地域別ハザードマップが作成され、今後も最新版ができると思う。災害に向けた大きな備えをつくっていき、安全・安心をもっと強く考えていけるような地域づくりの取り組みをしていくことが一番大事なことだと思う。</p> <p>(1) 大きな自然災害が発生した時、各町の対応には限界があると思う。今後の取り組み予定や考えは。</p> <p>京都スタジアム（仮称）の効果だと思うが、川東管内の道路・河川整備が急ピッチで進められており、地域の活性化には大きな力となっている。</p> <p>(1) 宇津根橋の架替え工事の現在の進捗状況と今後の施工計画は。 (2) 亀岡園部線の全面供用開始時期は。 (3) 市道池尻宇津根線の現在の進捗状況と完成時期は。</p> <p>今、京都府では子育て支援日本一を目指されているが、亀岡市においても子育て・教育で憧れのまちを重点事業の1つに挙げている。</p> <p>(1) 子育て・教育で憧れのまちを目指すための具体策は。</p>	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長
17	木村 勲 3月7日(木) 13:35~ ※一括	1 農業用ため池の点検整備について 2 国道9号の渋滞緩和について	<p>亀岡市においては、過去、平和池の決壊で多くの犠牲者が出た大惨事があった。</p> <p>本市には多くのため池が存在し、修繕・改修の早急な対応課題がある。2月19日に政府はため池の決壊被害を防ぐため防災上重要なため池を指定し、自治体による管理を強化する新法案を閣議決定されたが、本市の現状把握と今後の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 市内の農業用ため池の個数と、危険箇所の把握はできているのか。 (2) 昨年の豪雨の際の被害状況はどのように把握しているのか。 (3) 今後、どのような取り組みを考えているのか。 (4) 不用になった農業用ため池を埋立てた跡地の活用について、大井町南金岐の北1号池跡地の活用については、どのように検討されているのか。併せて、地元からの要望事項である、亀岡市消防団大井分団2部4班の屯所移転問題の進展はどのようになっているのか。</p> <p>亀岡市内の渋滞について、以前、京都縦貫自動車道が無料になった際には、渋滞が解消されていたが、有料に戻った現在は、平日の夕方、土曜・日曜・祝日の日中の渋滞はひどい状態である。今</p>	市長 所管部長 市長 所管部長

		<p>3 旧亀岡会館の取り壊しでなくなった亀岡市の文化会館・ホールについて</p>	<p>後、渋滞緩和にどのように取組んでいくのかを問う。</p> <p>(1) バイパス道路の構想について、検討はしているのか。</p> <p>(2) 桂川右岸道路整備の進捗状況は。</p> <p>(3) 千代川町の川関から宇津根までの延長の構想はしているのか。</p> <p>(4) 2月9日の新聞報道において、京都スタジアム(仮称)開業を見据えて、保津川下り「延伸」の記事が出たが、新船着き場とスタジアムを結ぶ道路をどのように考えているのか。</p> <p>亀岡市にはギャラリーかめおかがあるが、文化会館としての音響ホールはなく、市外に出かけて催しをされている現状がある。</p> <p>(1) 新たな施設の建設は検討しているのか。</p> <p>(2) 亀岡市単独で建設する予定があるのか。それとも、南丹市・京丹波町との広域連携による、京都府の施設としての建築構想も検討しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
18	<p>奥野 正三 3月7日(木) 14:10~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 災害復旧について</p> <p>2 自然保育について</p> <p>3 亀岡運動公園体育館の空調整備について</p>	<p>昨年の7月豪雨や台風第20号、第21号、第24号により、洪水や河川の氾濫、土砂崩れ等の災害が発生した。早急な復旧が求められる。</p> <p>(1) 府道・市道の改修について問う。</p> <p>①本市にかかる府道・市道でいまだに放置されたままの所はあるのか。</p> <p>②府道天王亀岡線の復旧計画は。</p> <p>③府道宮前千歳線の復旧計画は。</p> <p>④宮前町神前の市道長野線の復旧計画は。</p> <p>(2) 河川の改修について問う。</p> <p>①大路次川の護岸工事の計画は。</p> <p>②千ヶ畑川の護岸工事の計画は。</p> <p>③本梅川の護岸工事の計画は。</p> <p>④農業用水路の整備計画は。</p> <p>(3) 土砂崩れの改修について問う。</p> <p>①東本梅町大内のさくら峠の改修計画は。</p> <p>②宮前町宮川地区の改修計画は。</p> <p>東本梅保育所が自然豊かな立地を生かした保育を行う保育所となる。</p> <p>(1) 自然保育とはどのようなものか。</p> <p>(2) 新規事業だが、どのような保育を目指すのか。</p> <p>(3) 地元では保育所が存続するものと理解しているがどうか。</p> <p>(4) 周辺自治体からの児童の受入れも考えるということだが、その方策は。</p> <p>亀岡運動公園体育館の空調整備については、以前から多くの市民からの要望があったところであり、災害時の避難場所にも指定されていることから設備を充実することになる。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 本市の観光施策について	<p>(1) 整備を実施するに至った経過は。</p> <p>(2) 整備を実施するのは大体育館もしくは小体育館だけなのか。</p> <p>(3) 避難所だけでなく、体育施設としての利便性も必要と考えるがどうか。</p> <p>大河ドラマの放送を機に増えると考えられる観光客への対応は。</p> <p>(1) 光秀にゆかりのある場所に表示板を設置する考えは。</p> <p>(2) ゆかりの地を巡るレンタサイクル用マップを作成してはどうか。</p>	市長 所管部長
19	<p>松山 雅行 3月7日(木) 15:05~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 子育て支援について</p> <p>2 JR千代川駅の整備について</p>	<p>本市を「子育て・教育で憧れのまち」にいくために、ひとり親家庭への更なるサポート拡充、病児保育施設の充実、児童虐待の対応措置、保育施設職員の処遇改善について問う。</p> <p>(1) ひとり親に対しての児童扶養手当以外のさらなるサポート制度は、本市として今後どのように考えているのか。</p> <p>(2) 病児保育の受入れ施設の拡充等のサポートは、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 児童虐待について、家庭児童相談室は関係機関との連携をどのようにとって、どのような対応を行っているのか。</p> <p>(4) 保育士の処遇改善についてはどのように計画が進んでいるのか。</p> <p>亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)として整備が進められてきたが、駅舎改修をはじめ、ホーム内の屋根の設置、駅東側のポスト設置、東西の自由通路、エレベーター設置について問う。</p> <p>(1) 今年度の事業実施の内容は。</p> <p>(2) JR西日本に依頼をしている駅舎改修工事の設計業務の進捗はどうか。</p> <p>(3) 雨除け屋根の設置の長さはどうなっているのか。</p> <p>(4) 駅東側の郵便ポスト設置に向けて、日本郵政株式会社との協議の進捗はどうか。</p> <p>(5) 駅付近に設けられる保津川下りの船着場との連携は、本市としてどのように考えているのか。</p> <p>(6) 東西の自由通路、エレベーター設置に向けて前に進めていくための今後の対応は、どのように考えているのか。</p> <p>(7) 来年度に実施予定の事業内容は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
20	<p>小川 克己 3月7日(木) 15:40~</p> <p>※一問一答</p>	1 JR千代川駅周辺整備について	平成24年度に、JR千代川駅を中心とした「亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)」を策定し、現在西口スロープ工事も進められている。今後、土地区画整理事業や、保津川下りの新たな乗船場も構想され、市北部地域のにぎ	市長 所管部長

		<p>わいの拠点となる駅ではあるが、高齢化も待ったなしの状況である。周辺の整備について問う。</p> <p>(1) 来年度に予算計上されている事業の内容は。</p> <p>(2) 千代川駅上下線ホームの移動と自由通路の考え方は。</p> <p>(3) 現在、国道9号において、千々川橋から小川交差点までの西側の歩道整備を進めているが、千代川駅前交差点まで延伸する考えは。</p>	<p>住み続けたいまち亀岡の婚活支援事業について問う。</p> <p>(1) 婚活支援事業の取組みの概要と実績は。</p> <p>(2) 次年度の取組みの予定は。</p> <p>(3) この事業により結婚し、定住された人に対する取組みの予定は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 婚活支援事業について</p> <p>3 公共交通について</p>	<p>本市においても高齢化が進む中、地域住民の自立した日常生活や社会生活の確保、観光資源の活用による地域の活性化、交流人口の増加の促進の観点から、地域公共交通の活性化が重要な課題と考える。</p> <p>(1) ふるさとバスの利用状況は。</p> <p>(2) コミュニティバスの利用状況は。</p> <p>(3) それぞれのバス交通の利用者増加につながる取組みの状況と課題は。</p> <p>(4) ふるさとバスの時刻表が非常に見づらく思うがどうか。</p> <p>(5) 利用者のニーズのキーワードは駅・買い物・病院・ガレリアかめおか・市役所等だと思うが、バス交通の時間帯の見直しや、本市の近隣の交通機関との広域連携の考え方は。</p> <p>(6) 通勤世代や妊娠期、高齢者等の利便性や文化・観光資源への誘客など、福祉・産業・教育・まちづくりの横断的な考え方が重要だと考える。にぎわいを創出し、住み続けたいまちを目指す本市において、モビリティ・マネジメントや地域公共交通網形成の考え方は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 ハイキングコースの整備について</p>	<p>亀岡の豊かな自然や文化に触れ、健康増進につながるハイキングについて問う。</p> <p>(1) 本市にはどれぐらいのハイキングコースがあるのか。</p> <p>(2) 行者山を含め、ハイキングコースの整備についての考えは。</p> <p>(3) 昨年の台風の被害により利用できないコースの復旧についてはどうか。</p> <p>(4) 里山トレイルやオリエンテーリング、ハイキングなどの今後の取組みとコースの情報発信は。</p> <p>(5) 公共交通機関との連携は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>

21	<p>小松 康之 3月7日(木) 16:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 人口減少対策について</p> <p>2 防災・減災対策について</p> <p>3 児童虐待について</p> <p>4 まちづくりについて</p>	<p>移住・定住者の増加に向け、様々な取り組みを行ってきたが、これまでの実績と今後のビジョンについて問う。</p> <p>(1) 市長就任時から現在までの人口はどのように推移しているか。</p> <p>(2) 将来の人口変動予想は。</p> <p>(3) 人口減少がもたらす影響は、経済成長・産業・社会保障・地域に対してどのようなものがあるのか。</p> <p>(4) 喫緊の課題である人口減少対策について、組織横断的なプロジェクトチームを立上げ取り組むことはできないのか、本気度を問う。</p> <p>(5) 「離れ」にのうみの利用状況は。</p> <p>(6) 同施設の市民限定割引について、市内在住者の市外に住む親戚や家族、友人の利用はできないものか。</p> <p>本市の災害用備蓄品・非常食等の確保と保管について問う。</p> <p>(1) 備蓄量の目安と現在の数量は。</p> <p>(2) 備蓄品・非常食等はどこに保管されているのか。</p> <p>(3) 震災時の各避難所への運搬はどのようにするのか。</p> <p>(4) 事前にそれらを各避難所へ備蓄することはできないものか。</p> <p>亀岡ふるさとエナジーができる防災対策について問う。</p> <p>(5) 地産地消を活かし、災害時のエネルギー確保や利用にはどのようなことが期待できるのか。</p> <p>陸の孤島化を防ぐ非常時の道路について問う。</p> <p>(6) 国道9号ダブルルートの早期実現を期待するが、進捗状況は。</p> <p>(7) 京都縦貫自動車道の雨量規制をどう考えるか。</p> <p>虐待の数は増えながらも、関係機関の対応が追いつかない状況にある。本市の虐待の現状と今後の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 本市の児童虐待数は。</p> <p>(2) 家庭児童相談室の利用状況は。</p> <p>(3) 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点について、どのように役割を分担させ連携していくのか。</p> <p>(4) 虐待対応専門員の役割は。</p> <p>東つつじヶ丘にある市営住宅跡地が長期間野放しになっている状況で、地域こん談会でも跡地利用について要望が挙がっている。</p> <p>(1) 国との調整は進んでいるのか、進捗状況を問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	--	---	--	--

		5 大学との連携について	京都学園大学が4月から京都先端科学大学に生まれ変わり、2020年には工学部の設置を目指している。 (1)新たな連携についてどのように考えているのか。	市長 所管部長
--	--	--------------	---	------------